



Si シリーズコンソール用 iOS/Android モニターミックス・アプリケーション

**取扱説明書**  
Version 1.0



株式会社 サウンドハウス  
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3  
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

# 目次

目次 .....	2
はじめに .....	3
概要 .....	3
接続 .....	5
ミキサーコンソールの設定 .....	6
初期画面 .....	7
トラブルシューティング .....	15

## はじめに

この度は Soundcraft ViSi Listen をご購入いただき、誠にありがとうございます。ViSi Listen は、Si Impact、Si Performer、Si Expression、Si Compact ミキシング・コンソールのミックスバスレベルをワイヤレスでリモートコントロールできる iOS/Android アプリケーションです。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

## 概要

ViSi Listen を使用して、ミュージシャンやパフォーマーは、Android デバイスから直接モニターミックスをコントロールしながら自由に演奏することができます。Si Impact、Si Performer、Si Expression、Si Compact コンソールのアクセスコントロール設定と組み合わせることで、ミュージシャンは FOH レベル、コンソールのチャンネル&バス・プロセッシング、その他のパラメーターにアクセスすることなく、必要なコントロールを行うことができます。

## 機能

- モニター・ミックス・バスの転送レベルをコントロール
- ミュージシャンやパフォーマーが自分のモニターミックスを調整可能
- 同じコンソール上で複数のユーザーが自分のミックスをコントロール可能
- カスタムのビューグループを作成することで、より素早いナビゲーションとチャンネル・セットアップを実現

## ViSi Listen ソフトウェア動作環境

(最新のソフトウェアは Soundcraft ウェブサイトで入手可能)

Si Impact : ビルド 1.2 以上

Si Performer : ビルド 1.8 以上

Si Expression : ビルド 1.8 以上

Si Compact : ビルド 3.3 以上

\*\*このソフトウェアを使用する前に、コンソールがアップデートされていることを確認してください。

## **ViSi Listen. Android の互換性**

Android 4.4 以上。

\*Android 4.3 以前のデバイスは ViSi Listen アプリと互換性がありません。

## **ViSi Listen. iOS の互換性**

iOS 7 以上。

\*iPad 1 搭載の iPad は ViSi Listen アプリを使用できません。

## **本マニュアルについて**

本マニュアルは、ViSi Listen for iPad および Android (Pads) アプリを初めて使用するユーザーのためのガイドとして作成されています。Si シリーズミキサー コンソール上の基本的なセットアップ要件、iPad 上の ViSi Listen 固有の設定をカバーし、アプリによって提供される機能について説明します。

本ソフトウェアは膨大な数のルーター や同様のデバイスが利用可能です。ネットワークで使用されるワイヤレス ルーター や同様のデバイスのセットアップと管理についてはこのマニュアルではカバーしていません。

このマニュアルは、Apple iPad に精通し、ViSi Listen で使用することを目的とした Soundcraft コンソールの実務知識を持つ読者を対象としています。

本マニュアルに記載されている例は、Apple iOS 9.3.2 を使用してテストされています。

## 接続

最も基本的な典型的なセットアップを以下に示しますが、同じワイヤレスルーターに接続された複数のサウンドクラフトコンソールや、同じコンソールをコントロールする複数の iPad デバイスなど、他の組み合わせも可能です。



## 注意

「コンソール/ ViSi Listen」接続には、ルーターを共有する他のデバイスが帯域幅を消費するリスクを避けるため、専用のワイヤレスルーターを使用することをお勧めします。

ワイヤレスシステムへの「許可されていない」接続を防ぐため、ルーターのセキュリティを有効にすることをお勧めします。

Wi-Fi ドメイン内で大きなトラフィックや干渉が発生すると、動作が遅くなったり、信頼性が低下したりすることがあります。このような問題が発生した場合は、Wi-Fi IT の専門家にアドバイスを求めるをお勧めします。

## ミキサーコンソールの設定

### IP アドレスの設定

ViSi Listen をオンラインで使用する前に、iPad とコンソール間でネットワーク接続を確立する必要があります。

最も簡単な解決策は、ルーターを DHCP サーバーとして設定し、コンソールと iPad で DHCP アドレッシングを使用するように設定することです。

コンソールの IP アドレス設定の調整方法については、コンソールのユーザーガイドを参照してください。

コンソール HiQnet 接続ポイント HiQnet ポート（標準イーサネット入力）は、Si Impact、Si Expression、Per-former、Compact コンソールの背面にあります。電気的接続が確立されていることを示す緑の LINK LED と、データの流れを示す DATA LED があります。

### ルーターの設定

ViSi Listen の動作環境を構築するには、ネットワークルーターの初期設定が必要です。

### IP アドレス設定

ルーターには、DHCP または手動アドレス設定を使用して IP アドレスを設定するオプションがあります。設定手順をシンプルにするために、ルーターを DHCP に設定することをお勧めします。設定へのアクセス方法については、選択したルーターのユーザーガイドを参照してください。

## 初期画面

### デバイス選択

ViSi Listen は、Soundcraft Si コンソールに接続し、イーサネットまたは WiFi 接続を介して HiQnet プロトコルを使用してミックスバスの転送レベルを制御することができます。まず、ミキシング・コンソールがネットワークに接続されていることを確認します。デバイス画面の ViSi Listen アプリがネットワークに接続された Si コンソールを検出するはずです。コントロールしたいコンソールを選択します。ダブルタップして、バス選択に進みます。



### バス選択

デバイスを選択した後、コントロールする Mix Bus を選択します。

Si コンソールのアクセスコントロールが有効であれば、HiQnet アドレスに基づいてミックスバスのコントロールの権限がアプリに付与されます。必要なミックスバスを選択してコントロールできない場合、アクセスコントロールが有効になっていても、HiQnet アドレスが認証されていないことが考えられます。これを調整するには、コンソールのオペレーターに相談し、コントロールしたいミックスバスにデバイスの HiQnet アドレス（上記の Settings タブで確認できます）を割り当ててください。



## 1 初期画面

### 1.1 設定画面

設定画面では、HiQnet の設定に加え、ネットワークの設定も確認できます。個人端末の HiQnet アドレスもこの画面で変更できます。



## 1.2 メインフェーダーページ

Contribution Levels ページでは、コントロールするミックスバスの転送レベルを調整します。

その他のコントロールには、ミックスバスがステレオの場合のパンコントロール、MIX MASTER トグルが有効な場合のミックスのマスターボリュームなどがあります。

このページの下部には、カスタムチャンネルビューを作成できるビューグループがあります。



### 1.3 ビューグループページ

表示および制御できるチャンネルをカスタマイズすることができます。「+」を押すとチャンネルが追加され、「-」を押すとビューグループからチャンネルが削除されます。



## 2 コンソール

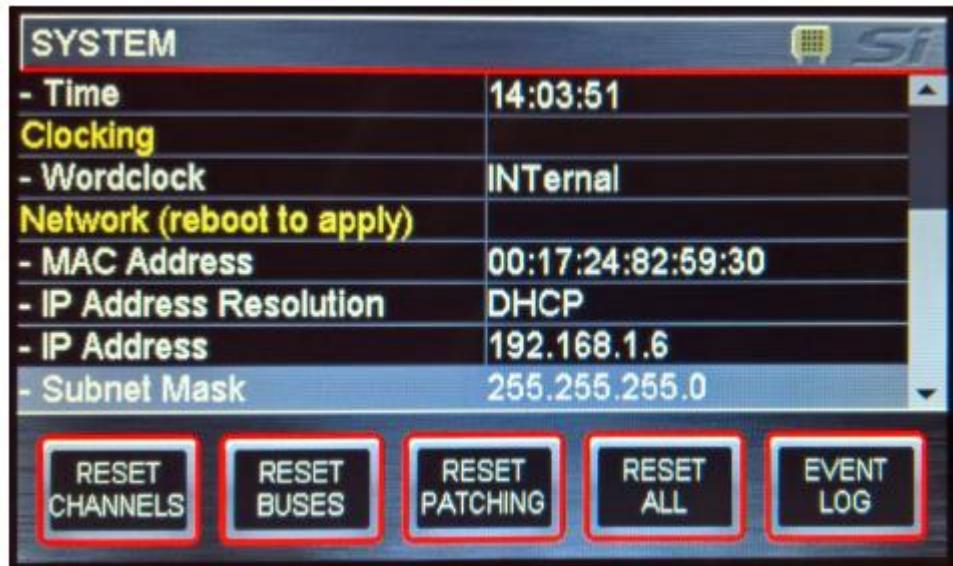
### 2.1 コンソールの設定

ViSi Listen をコンソールと連動させるには、特定のパラメーターを設定する必要があります。

コンソールの「メインメニュー」の「設定」で、コンソールに有効な IP アドレスと HiQnet アドレスが設定されていることを確認してください。

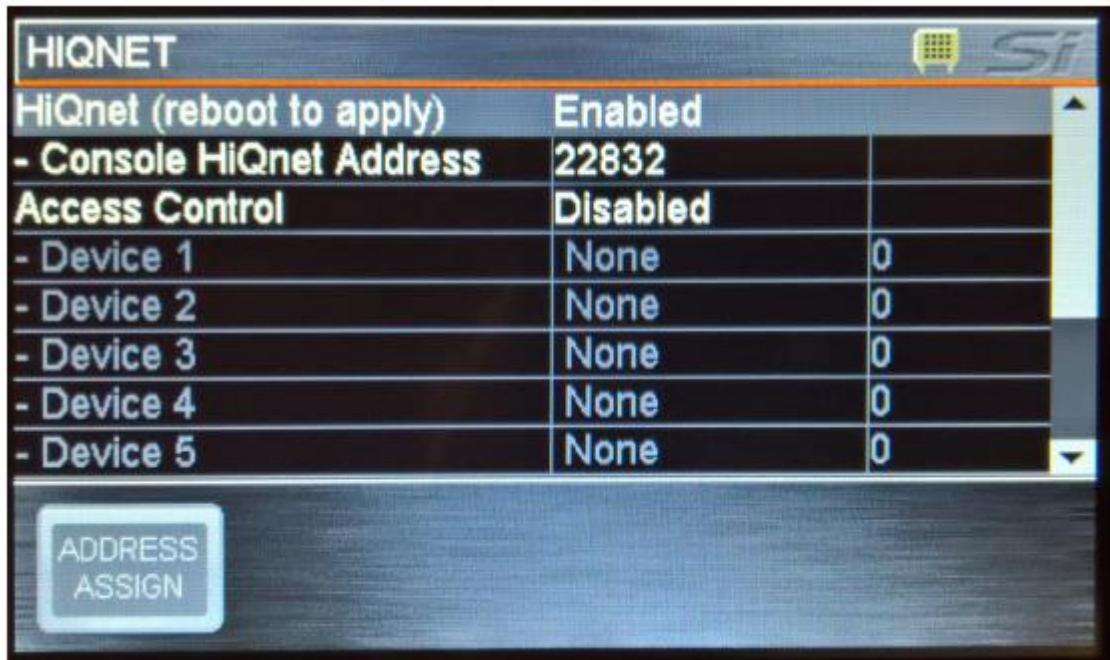


「SYSTEM」メニューを選択し、コンソールに有効な IP アドレスと HiQnet アドレスがあることを確認します。

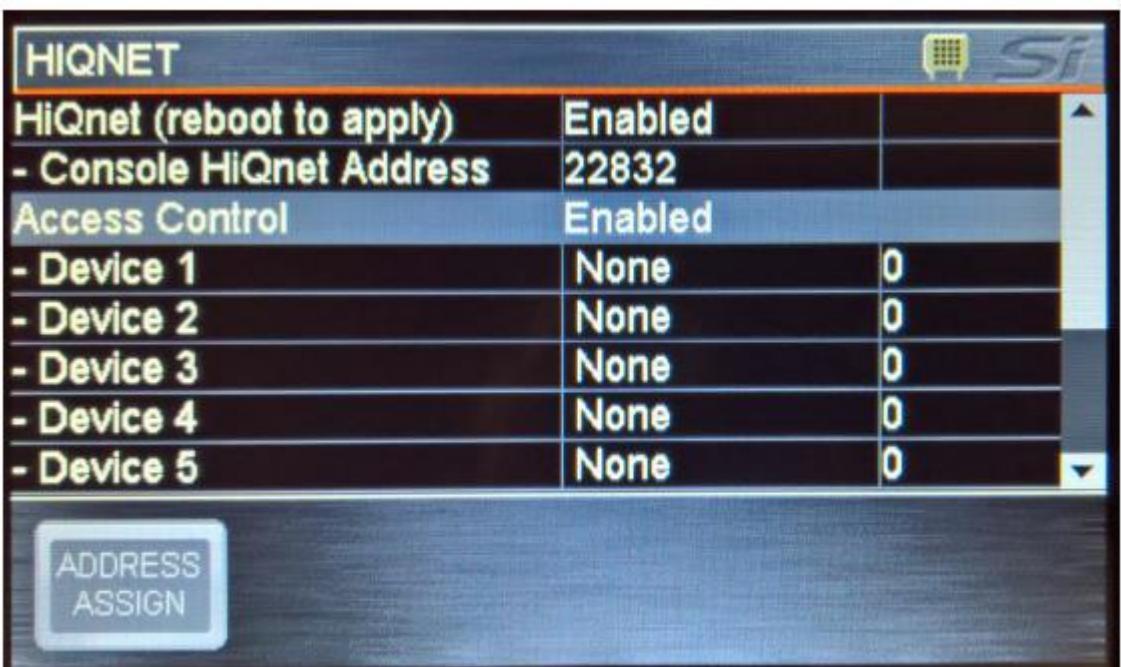


IP アドレスの設定に問題がある場合は、コンソールのマニュアルを参照してください。

次にメインメニューの「HiQnet」タブを選択します。



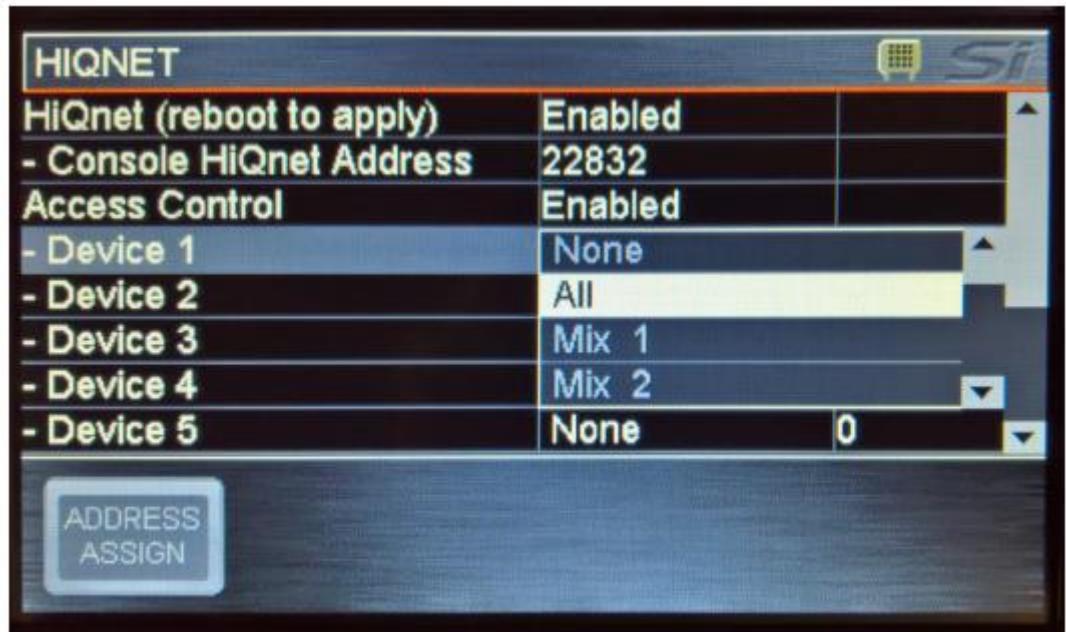
このメニューでは、制限付きアクセスコントロールをオンにすることができます。  
メニューで in を選択してアクセスコントロールを有効にします。



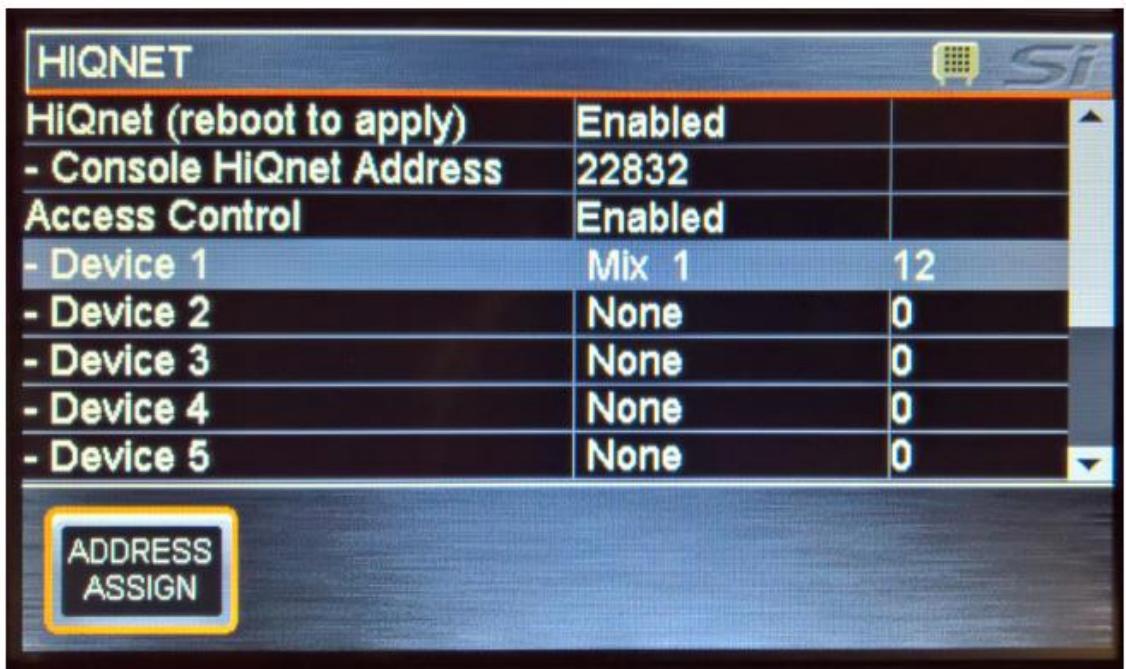
右側の列でデバイス ID を選択します（このデバイス ID はデバイス設定タブで確認できます）。



上記の例では、デバイスの HiQnet アドレスは 105 でした。この番号をコンソールのデバイスセレクタ ID 番号にも入力する必要があります。



デバイスがコントロールできるミックスを、特定のミックス、または全ミックスから選択できます。



## トラブルシューティング

ViSi Listen は、免許不要の無線環境で動作する際に課される制限を考慮し、可能な限り信頼性が高く安定するように設計されています。万が一、ViSi Listen が期待通りに動作しない場合は、以下の点を注意深くチェックしてください。

- **お使いのコンソールと iPad のソフトウェアは ViSi Listen に対応していますか。**  
コンソールのソフトウェアをチェックし、最新バージョンであることを確認してください。また、ViSi Listen のページをチェックし、iPad で ViSi Listen の最新バージョンを実行していることを確認してください。
- **コンソールで使用するルーターの WiFi に接続していますか。**  
iPad が複数のネットワークを「検知」しているとき、ViSi Listen のネットワークが失われたり、ドロップアウトした場合、iPad は自動的に別の既知のネットワークに切り替わります。これは iPad OS の機能です。iPad が現在使用しているネットワークは、ViSi Listen デバイスマニュアルに表示されます。
- **IP アドレスは正しく設定されていますか。**  
手動で IP アドレスを設定する場合は、その範囲が有効であること、ネットワーク上の 2 つのデバイスが同じアドレスを持っていないことを確認してください。この設定は、ViSi Listen が使用するネットワークを共有するすべての機器（iPad や HiQnet 以外の機器も含む）に必要です。DHCP を使用する場合は、ネットワーク上のすべてのデバイスが IP アドレスを解決する方法として DHCP に設定されていることと、ルーターが DHCP サーバーとして設定されていることを再確認してください。

### 注意

IP アドレスや HiQnet アドレスの変更後にコンソールを再起動することをお勧めします。これにより、全てのデバイスがこのコンソールの IP アドレスを検知して更新します。

- **HiQnet アドレスは正しく設定されていますか。**  
ネットワーク上のすべての HiQnet デバイスに固有の HiQnet アドレスが設定されていることを確認してください。これには、ViSi Listen を実行しているすべての iPad デバイスとネットワーク上のすべてのコンソールが含まれます。

- コンソールで **HiQnet** は **On/Enabled** になっていますか。

特定のイベントやアクションによって、**HiQnet** の設定がデフォルトで **Off/ Disabled** になります。ViSi Listen で制御したいすべてのデバイスで、**HiQnet** を **On/Enabled** にする必要があります。

- **Si Expression、Performer、Compact** の **HiQnet**、IP アドレス、サブネットマスクを変更してから再起動しましたか。

これらの設定の一部は「ライブ」で変更することができないため、新しい設定が表示されたり反映されたりする前にコンソールを再起動する必要があります。

- **ViSi Listen** が定期的にオフラインになります。

作業中の RF 環境を分析するには専用機器が必要ですが、ワイヤレスルーターを中心には設置する、ルーターのセキュリティを有効にする、別のチャンネルに切り替える、別の帯域 (iPad とルーターが対応していれば 5.0GHz など) で動作させるなど、どうしても回避できないワイヤレス・トラフィックの一部を回避するのに役立ちます。Soundcraft では、ネットワークの運用に支障をきたすモバイル機器による不要な接続を防ぐため、Wi-Fi ルーターのセキュリティを有効にすることを推奨しています。

